

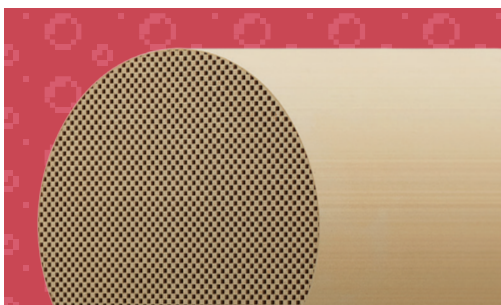
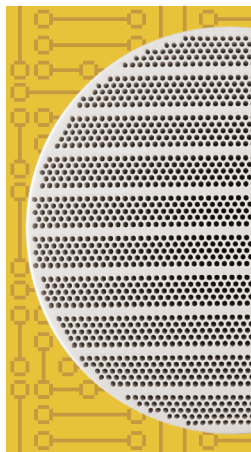
株主のみなさまへ

証券コード：5333

(第154期)

2019年度中間報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで



Surprising Ceramics.



日本ガイシ



株主のみなさまには平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループの第154期第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の事業概況を謹んでご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、雇用や所得環境の改善から緩やかな回復基調が続きました。海外では、米国を中心に回復基調が続いた一方で、中国で

は経済成長率の伸びが鈍化するなど景気に減速傾向がみられました。

当社グループにおきましては、電力関連事業では、国内外でがいの需要が減少したほか、NAS[®]電池の出荷も低調でした。セラミックス事業では、欧州や中国の排ガス規制強化にともないガソリン乗用車用GPF(ガソリン・パティキュレート・フィルター)やセンサーの物量が増加しました。エレクトロニクス事業では、米中貿易摩擦による市況回復の遅れから、ベリリウム銅展伸材や産業機器装置向けノイズフィルタの物量が減少しました。プロセステクノロジー事業では、半導体メーカーの設備投資抑制を背景に半導体製造装置用製品の物量が減少しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比3.7%減の2,197億66百万円となりました。営業利益は同11.4%減の316億43百万円、経常利益は同13.3%減の296億79百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、同14.0%減の212億44百万円となりました。

通期の業績につきましては、排ガス規制の強化を背景にGPFの物量が増加する一方、半導体製造装置用製品の需要回復の遅れなどにより、売上高は前期比2.9%減の4,500億円、営業利益は同7.3%減の600億円、経常利益は同6.8%減の600億円を見込んでおります。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失の減少などにより同18.3%増の420億円の見通しです。

当期の中間配当金につきましては1株あたり25円とさせていただきます。また、期末配当につきましては、現時点で25円の予想としております。

このような状況のもと、下半期は引き続き、期初に掲げた重点課題に取り組んでまいります。

既存事業の競争力強化につきましては、2019年10月に操業を開始した半導体製造装置用製品の多治見新工場の安定稼働や同年12月からGPFの生産を予定する中国第2工場の立ち上げを中心に着実に実施し、高効率な生産体制を構築してまいります。

新製品・新規事業の創出につきましては、売上高に占める新製品比率を30%以上とする「Keep up 30」を目標に掲げ、全社を挙げて取り組んでおります。2019年6月には窒化ガリウムウエハー「FGAN(エフガン)」が、電子デバイス産業新聞主催の第25回半導体・オブ・ザ・イヤー2019において半導体用電子材料部門のグランプリを受賞したほか、2019年10月にはチップ型セラミックス二次電池「EnerCera®(エナセラ)」シリーズが、CEATEC AWARD 2019のデバイス&テクノロジー部門でグランプリを受賞するなど高い評価を受けており、今後、需要獲得に繋げてまいります。

グローバル経営とコンプライアンス・ガバナンス強化に関しては、2019年9月に世界の代表的なESG投資指標の一つである「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・アジア・パシフィック・インデックス」に、4年連続で選定されました。その他、環境経営の推進、品質コンプライアンス、ガバナンス体制の強化にも引き続き取り組み、グローバル経営を推進してまいります。

多様な人材の活躍と働き方改革につきましては、女性の活躍推進への取り組み実施状況が優良な企業を厚生労働大臣が認定する「えるぼし」の最高ランク「認定段階3」を2019年8月に取得しました。今後も積極的に女性活躍推進に取り組むとともに全ての社員が一人ひとりの持てる力を最大限に発揮できる企業を目指します。

当社グループは、こうした取り組みを通じて経営基盤のさらなる強化に努め、持続的な成長と企業価値の向上を実現し、資本効率重視、株主重視の経営を継続してまいります。株主のみなさまにおかれましては、何卒倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

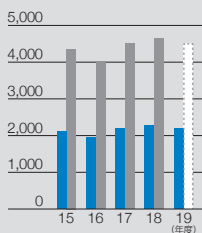
取締役社長

大島 卓

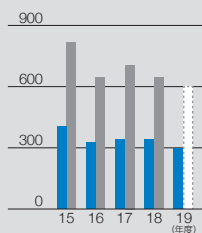
連結財務ハイライト

■ 第2四半期累計 ■ 通期 ■ 通期(見通し)

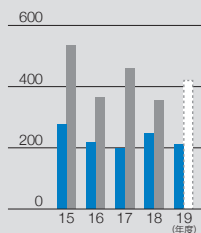
売上高
(単位：億円)



経常利益
(単位：億円)



親会社株主に帰属する
四半期純利益・当期純利益
(単位：億円)



事業別営業概況

電力関連事業

売上高は、前年同期比14.7%減の206億31百万円。国内電力会社の設備投資抑制や海外での競争激化を背景にがいしの需要が減少したほか、NAS®電池の出荷も低調に推移。営業損益は24億18百万円の営業損失（前年同期は31億19百万円の営業損失）。

	2019年度 第2四半期 (億円)	2018年度 第2四半期 (億円)	前年同期比
売上高	206	242	△14.7%
営業利益	△24	△31	—

セラミックス事業

売上高は、前年同期比4.5%増の1,281億85百万円。世界的な乗用車販売台数減を背景に自動車排ガス浄化用触媒担体（ハニセラム）の出荷が減少したものの、欧州や中国の排ガス規制強化にともないガソリン乗用車用GPFやセンサーなどの物量が増加。営業利益は同7.2%増の309億32百万円。

	2019年度 第2四半期 (億円)	2018年度 第2四半期 (億円)	前年同期比
売上高	1,282	1,226	+4.5%
営業利益	309	289	+7.2%

エレクトロニクス事業

売上高は、前年同期比6.6%減の282億72百万円。米中貿易摩擦による市況回復の遅れから、ベリリウム銅展伸材や産業機器装置向けノイズフィルタの物量が減少。営業利益は同35.3%増の4億21百万円。

	2019年度 第2四半期 (億円)	2018年度 第2四半期 (億円)	前年同期比
売上高	283	303	△6.6%
営業利益	4	3	+35.3%

プロセステクノロジー事業

売上高は、前年同期比16.0%減の440億98百万円。半導体メーカーの設備投資抑制を背景に半導体製造装置用製品の物量が減少したほか、電子・電子材料メーカーの設備投資抑制やリチウムイオン電池正極材用焼成炉の競争激化により加熱製品の販売が減少。営業利益は同72.1%減の26億99百万円。

	2019年度 第2四半期 (億円)	2018年度 第2四半期 (億円)	前年同期比
売上高	441	525	△16.0%
営業利益	27	97	△72.1%

トピックス

森村4社合併会社設立概要のお知らせ

森村グループ4社（日本ガイシ、ノリタケカンパニーリミテド、TOTO、日本特殊陶業）は固体酸化物形燃料電池（SOFC）に関する合併会社「森村SOFCテクノロジー株式会社」の設立の概要を決定しました。各社は、これまで培ってきたSOFCに関する技術・ノウハウなどを持ち寄り、それぞれの有する経営資源を融合することで早急な商品化の実現を目指します。

要約財務諸表(連結)

四半期連結貸借対照表 (2019年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	426,700	流動負債	140,213
現金及び預金	89,863	支払手形及び買掛金	47,179
受取手形及び売掛金	99,149	短期借入金	6,136
有価証券	54,020	1年内返済予定の長期借入金	28,359
たな卸資産	160,661	未払法人税等	11,411
その他	23,127	NAS電池安全対策引当金	1,813
貸倒引当金	△121	競争法関連連損失引当金	1,177
		その他	44,135
固定資産	438,031	固定負債	237,322
有形固定資産	348,529	社債	25,000
建物及び構築物(純額)	101,931	長期借入金	181,434
機械装置及び運搬具(純額)	151,677	退職給付に係る負債	21,065
その他(純額)	94,920	その他	9,822
無形固定資産	3,477	負債合計	377,535
投資その他の資産	86,024	純資産の部	
投資有価証券	64,692	株主資本	486,303
その他	21,635	資本金	69,849
貸倒引当金	△303	資本剰余金	71,946
		利益剰余金	356,523
		自己株式	△12,016
資産合計	864,732	その他の包括利益累計額	△10,182
		その他有価証券評価差額金	18,330
		繰延ヘッジ損益	△14
		為替換算調整勘定	△23,212
		退職給付に係る調整累計額	△5,286
		新株予約権	915
		非支配株主持分	10,160
		純資産合計	487,196
		負債純資産合計	864,732

(百万円未満切捨)

四半期連結損益計算書 (2019年4月1日から2019年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	219,766
売上原価	151,539
売上総利益	68,227
販売費及び一般管理費	36,583
営業利益	31,643
営業外収益	1,653
営業外費用	3,617
経常利益	29,679
特別利益	505
特別損失	1,631
税金等調整前四半期純利益	28,553
法人税、住民税及び事業税	8,013
法人税等還付税額	△425
法人税等調整額	80
四半期純利益	20,885
非支配株主に帰属する四半期純損失	△359
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,244

(百万円未満切捨)

株式情報 (2019年9月30日現在)

大株主

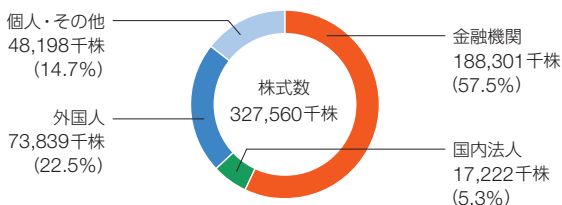
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	40,661	12.63
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	29,479	9.15
明治安田生命保険相互会社	21,695	6.74
第一生命保険株式会社	21,457	6.66
株式会社三菱UFJ銀行	7,204	2.23
全国共済農業協同組合連合会	6,299	1.95
JP MORGAN CHASE BANK 380055	6,179	1.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	4,887	1.51
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	4,387	1.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	4,378	1.36

(注) 1. 当社は、自己株式5,729千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

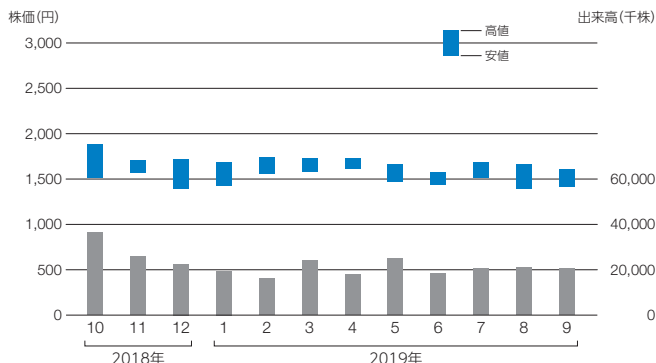
2. 上記持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数(5,729,423株)を控除した株数を基準として算出し、小数点第3位以下を切り捨てとしております。

株式の情報

発行可能株式総数 735,030,000株
 発行済株式の総数 327,560,196株
 株主数 39,837名



株価の推移



会社情報 (2019年9月30日現在)

会社概要

表記社名	日本ガイシ株式会社
商号	日本碍子株式会社 NGK INSULATORS, LTD.
代表者	代表取締役社長 大島 卓 代表取締役副社長 武内 幸久 代表取締役副社長 蟹江 浩嗣
設立	1919年5月5日
資本金	69,849百万円

役員

*は代表取締役

* 取締役社長	大島 卓	取締役(社外)	蒲野 宏之
* 取締役副社長	武内 幸久	取締役(社外)	浜田恵美子
* 取締役副社長	蟹江 浩嗣	取締役(社外)	古川 一夫
取締役	坂部 進	常勤監査役	杉山 謙
取締役	岩崎 良平	常勤監査役	島崎 毅
取締役	丹羽 智明	監査役(社外)	伊藤 純一
取締役	石川 修平	監査役(社外)	坂口 正芳
取締役	佐治 信光		
取締役	松田 敦		

執行役員

*は取締役を兼務

* 社長	大島 卓	常務執行役員	山田 忠明
* 副社長	武内 幸久	常務執行役員	七瀧 努
* 副社長	蟹江 浩嗣	執行役員	山田 智裕
* 専務執行役員	坂部 進	執行役員	加藤 明
* 専務執行役員	岩崎 良平	執行役員	井上 昌信
* 専務執行役員	丹羽 智明	執行役員	加藤 宏治
* 専務執行役員	石川 修平	執行役員	宮嶋 敦
* 専務執行役員	佐治 信光	執行役員	神藤 英明
* 常務執行役員	松田 敦	執行役員	森 潤
常務執行役員	小林 茂	執行役員	篠原 宏行
常務執行役員	倉知 寛	執行役員	大和田 巖
常務執行役員	手嶋 孝弥		
常務執行役員	松田 弘人		

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
剰余金の配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)(平日 9:00-17:00)
公告方法	電子公告により当社ホームページ(https://www.ngk.co.jp/ir/koukoku)に掲載いたします。なお、事故その他やむを得ない事由により電子公告することができない場合は、日本経済新聞および名古屋市中において発行する中日新聞に掲載いたします。

株式に関するお手続きについて

1 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先までお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
・特別口座から一般口座への振替請求 ・単元未満株式の買取・買増請求 ・住所・氏名などのご変更 ・特別口座の残高照会 ・配当金の受領方法の指定*	特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・郵送物などの発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人 手続き用紙のご請求方法 □ インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufj.jp/daikou/

*特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はご選べいただけません。

2 証券会社などの口座に記録された株式

証券会社などの口座に記録された株式の各種お手続きにつきましては、一部を除き原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
・郵送物などの発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・上記以外のお手続き、ご照会など	口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。

お知らせ

野村IR資産運用フェア2019に出展いたします。

日 時：2019年12月20日(金)・21日(土) 10:00～17:00

会 場：ベルサール渋谷ガーデン 東京都渋谷区南平台町16-17住友不動産渋谷ガーデンタワー1F・B1



日本ガイシ株式会社

〒467-8530 名古屋市中瑞穂区須田町2番56号

電話 (052) 872-7176 E-mail: share-gr@ngk.co.jp

